

安かろう悪かろうやないの？ 関西人の見方

* 松井 潔

「えーっ、なんでこんなに高いの」

開業して「レセコン」を導入したときの率直な感想です。んなもんかなー、と使って十年。「なんでこんな簡単なソフトウェアに何百万も払うん？」という疑問がふつふつと湧いてきていました。二回目のレセコンの更新期を迎え、またたいした事のないハードウェアと中身の見えないソフトウェアに何百万も払うのかと思っていた矢先、藤沢の高岸先生から「すっごくいい電子カルテソフトウェアがあるよ」と言われて紹介されたのがダイナミクスでした。

* 昭和二十七年三重県生まれ。愛媛大学卒業。愛媛大学助手、宇和島市民病院皮膚科勤務を経て、平成二年に神奈川県藤沢市で松井ヒフ科開業。

ええ、なにこれムチャムチャ安いやん！ それまで使用していたレセコンの十分の一の値段、しかもレセコンとしても使える電子カルテとのこと。さすがに十年以上開業していると紙カルテは山のようになり保存場所にも困るようになってきた矢先「ペーパーレス」と言う言葉には「ぐっ」とくるものがあります。

——でも安かろう悪かろうやないの？（関西人は損するのはキライですから）。しかし作ったのは大阪の吉原先生。半信半疑で、まず試用版（これは無料で正規版と同じ、この辺が太っ腹）を数ヶ月使用し、非常にすぐれたソフトであることがわかり、正規版を購入しました。

オープンなソフトウェアなので、自己責任で自分流にカスタマイズすることもでき、セットの処方や検査、カルテ記載を簡単にするようにテンプレートをつくったり、楽しみながら準備をしていきました。ただ開発者の吉原先生も述べているように既存メーカーのようなサポートはないため、ある程度のパソコンの知識は必要です。その代わりメーリングリストが充実しており、困った事があってもすぐに仲間や開発者の吉原先生自らが解決策やヒントを下さるので、今まで大きなトラブルはありません。

ハードウェアは市販のウィンドウズマシンならOK、充分安くすみしました。さて次は院内にLAN

を組んで、最初は、ルーター？ 100Base？ など、わけがわからなかったのですが、習うより慣れろでなんとかなるようです。ただ十年間分の来院患者のレセコンからのデータコンバートができなかったため、頭書きを最初からやらなければならなかったのはちよつとつらかったですが、事務員に頑張ってもらい、高齢の事務の方もその間になんとかコンピューターに慣れてきたため、かえつてよかったです。

メーカーによつては頭書きくらいはコンバートしてくれるようです。そういう意味では新規開業の先生にはまさにぴったりだと思います。

ウィルスの危険性やデータの流出を防ぐため現在はネットに繋ぐパソコンとのLANは切り離しています。

安価なのはまったく宣伝広告をしていないことにもあります。草の根でユーザーが育てていくソフトのため、どうしても既存メーカーのように認知される機会がありません。使用しているわれわれが、このような形で少しでも多くの方に「ダイナミクス」の存在を知ってもらい、新しいユーザーが増えることを期待して止みません。